

京都府^{せんせい}陝西省友好提携 30 周年記念事業に同行しました

北京事務所

1. はじめに

京都府と陝西省は、唐の時代から様々な分野で活発な交流が行われており、また、古都として共通点も多いことから、1983 年に友好提携を締結し（京都府にとって陝西省は最初の友好提携先）、以来、現在まで、行政・医学等の研修生受入、京都府文化博物館と陝西歴史博物館との交流、語学教員の相互派遣、児童生徒絵画作品の交換展覧会、日本語専攻学生への奨学金支給、植樹協力事業、「環境ビジネス交流に関する覚書」（2008 年 10 月 17 日署名）に基づく交流をしています。

京都府と陝西省が友好提携を開始してから、今年で 30 周年になります。それを記念して、京都府から山田知事を代表とする訪問団が 11 月に陝西省を訪問し、記念行事を開催しました。当事務所も事業に同行し、活動支援を行いましたので、その様子を報告します。

2. 事業スケジュール

日 程	内 容
11月17日(日)	< 陝西省着 >
11月18日(月)	○京都府日中友好協会・陝西省人民对外友好協会等主催 「第16回日中友好文化芸術展」開会式出席 ○陝西省人民政府との友好交流協議 趙正永（チョウ セイイ）中国共産党陝西省委員会書記 王莉霞（ワ リイカ）陝西省人民政府副省長ほか出席
11月19日(火)	○府立北桑田高校による友好提携30周年記念植樹 ○経済交流「京都フェアin西安」（京都物産展）開催 ○陝西省京都関連人材との交流 3名の西安在住京都府名誉友好大使、5名の京都府研修生他と交流
11月20日(水)	< 陝西省発 >

3. 事業内容

(1) 第 16 回「日中友好文化芸術展」

京都府と陝西省との民間交流の1つとして、今年で 16 回目を迎える「日中友好文化芸術展」の開会式に参加しました。開会式には西安培華学院で日本語を学ぶ学生も多数参加され、訪問団とともに芸術展を鑑賞しながら、交流いただきました。



(2) 陝西省人民政府との友好交流協議

昨年、省長として初めて京都府を訪問された前省長の趙正永（チョウ セイエイ）書記をはじめ陝西省幹部と懇談しました。

懇談の中で、教育や文化、芸術分野など 30 年の友好交流の歴史を踏まえて、経済や環境保護分野など両地域が抱える課題に関する、今後の更なる交流の促進について互いに確認が行われました。

その後、開催された陝西省主催の歓迎夕食会には山田知事、多賀府議会議長、趙書記、王副省长をはじめ約 80 名が参加し、お互いの友好を深めることができました。

夕食会では、山田知事から「30 年の歴史を築いてきた先人に感謝し、今日の日を新たな交流に向けた一歩としたい」と挨拶がありました。

(3) 府立北桑田高校による友好提携 30 周年記念植樹

10 年前から継続して実施されている京都府立北桑田高校の植樹活動について、今回は友好提携 30 周年記念事業として実施されました。

今回は、北桑田高校森林リサーチ科の生徒 26 名が陝西省を訪れ、府訪問団、陝西師範大学の学生の皆さんとともに、コノテカシワの植樹を行い、友好提携 20 周年の時に建てられた友好記念碑の前で記念撮影を行いました。



なお、北桑田高校の植樹活動は、2008 年度、当協会モデル事業の助成を受けており、また、同年度の「姉妹自治体交流表彰」の「総務大臣賞 審査委員会特別賞」を受けています。

(4) 経済交流「京都フェア in 西安」(京都物産展) 開催



経済交流事業として、西安市内のショッピングモールで「京都フェア in 西安」を開催しました。

フェアには京都市内の企業のほか、宮津市や京丹後市など府北部の企業も出展し、日本酒や宇治茶、京漆器など京都の衣食住を広く知っていただくことができました。

また、式典も行い、鏡開きや西安培華学院の生徒による合唱や茶芸などで交流を図り、山田知事や多賀議長が京都物産を PR しました。

(5) 陝西省京都関連人材との交流

今回の訪問でお世話になった陝西省関係者を招待し交流会を開催しました。今回の記念行事の関係者も多数参加いただき、交流を深めることができました。

交流会には、西安市在住の京都府名誉友好大使※3名が出席、通訳業務を担当いただきました。また、これまで京都府が陝西省から受け入れてきた研修生の皆さんにも参加いただき、京都府と陝西省の人材ネットワークの強化もあわせて行うことができました。

<※京都府名誉友好大使とは>

京都府内で勉強する外国人留学生で、京都府との「かけ橋」としての役割を果たそうという意欲のある方を「京都府名誉友好大使」に任命しています。大使は「研修や視察等への参加によって京都府への理解を深める」「京都府の国際化の協力者として、府や市町村等の国際化行事への参加、府政への参画、提案に積極的に努める」「生活相談など留学生相互支援に協力する」「留学期間終了後も京都府のPRや出身地域の情報提供等に協力する」等の業務を行います。

4. 最後に

昨年の9月以降、国同士の関係悪化の影響を受け、日本の地方自治体と中国の地方政府の交流も多くが中止・延期される状態が長く続いていました。

しかし、今年度に入り、6月に北京で開催された中日友好協会主催の「日中平和友好条約締結35周年並びに日中友好都市交流40周年記念シンポジウム」や8月に当事務所が浙江省義烏市で開催した「日中地域間推進交流推進セミナー」など、多くの日中の自治体・地方政府関係者が集い、意見・情報交換や交流を図る機会が持てるようになってきました。

また、友好提携周年における事業の実施や互いの自治体への訪問についても、今年度は予定通り実施されている場合が多く、地方間の交流は回復してきていると言えます。

今回の京都府と陝西省の30周年記念事業も予定通り実施され、政府及び民間の交流、また、芸術・青少年・経済などの他分野にわたる交流が行われ、陝西省人民政府をはじめとする皆さんから歓迎を受けました。

当事務所におきましても、引き続き、活動支援等を通じて、日中地域間交流の推進に貢献して参ります。

(水越所長補佐 京都府派遣)